

<令和6年度 言語聴覚部門の目標>
患者が食事を独力で摂取できるように看護師と協働する。
迅速に経管栄養が離脱できるよう多職種と協働しながら介入する。
在宅でも容易に対応可能な食事形態を安全に摂取できるように支援する。

2024年度(令和6年度)言語聴覚部門 臨床指標			前年度(令和5年度)
総退院患者数	472	名	463名
ST処方率(脳血管疾患＋廃用症候群)	67.7	% (320名/472名)	71.2%(330名)
失語症	20.6	% (66名/320名)	前年度未集計
高次脳機能障害(失語症を除く)	55.6	% (178名/320名)	前年度未集計
dysarthria・音声障害	34.3	% (110名/320名)	前年度未集計
認知症	5.6	% (18名/320名)	前年度未集計
摂食嚥下障害患者	25.3	% (81名/320名)	32.5%(57名/175名)
神経心理学的検査の実施実績			
失語症検査(SLTA, WAB)	51	件	前年度未集計
知能検査(WAIS-IV)	80	件	前年度未集計
その他の高次脳機能検査(CAT, WMS-R, BADS, BIT, RBMTなど)	91	件	前年度未集計
入院時と退院時の食事形態の比較			
軟菜食・常食の割合			
入院時: 61.2% (196名/320名)	→	退院時: 79.0% (253名/320名)	入: 51.9%→退: 69.1%
液体の割合			
入院時: 61.5% (197名/320名)	→	退院時: 75.9% (243名/320名)	入: 53.6%→退: 63.2%
入院時と退院時のFIM5点以上の割合			
入院時: 60.6% (194名/320名)	→	退院時: 75.0% (240名/320名)	入: 61.2%→退: 78.0%
経管栄養離脱率	42	% (21名/50名)	34.7% (8名/23名)
カニューレによる呼吸管理	10	名	前年度未集計
カニューレの抜去率	70	% (7名/10名)	前年度未集計